

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、15～19℃台を示し、やや低めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の8%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり9トンの水揚げで前週の2.3倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり59kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり2.7トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり24kgの水揚げで前週を上回った（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり86kgの水揚げで、前週の53%（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり15kgの水揚げで、前週の63%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり3トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり143kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり132kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり54kgの水揚げで、前週の20%（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（4/25～4/28の4日間）沖合イカ釣り船、船凍船は切揚休漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡周辺～鳥取沖に出漁。

鳥取県西部（沖合船）2日延2隻、総計250箱、1航海最高164箱、平均125箱。スルメイカ（25～40入）239箱、ケンサキイカ（2～3立）11箱の混獲となった。

今期も山口沖が主漁場となったが隠岐海峡～鳥取沖でもスルメイカにケンサキイカが獲れ始めた。（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>